

快挙！！ 3年間連続

【到達度試験参加者】合格率 80%以上を達成

- ★ 27年度のEPA介護士合格率は50.9%で、前年よりも6.1%上昇した。だが、50.9%の合格率は受験までの学習時間量を考えると、決して良い結果とはいえず、例年通りの悪い結果と評価せざるを得ない。
- ★ この毎年続く悪い結果の原因は、一重に受験者に対する日本語教育の内容の悪さを表している。
- ★ 一方、【到達度試験参加者】の合格率は、3年間連続80%以上を出し、介護士合格率を大きく上回った。
- ★ この合格率の開きの原因は、【到達度試験参加者】は、体系的な言語教育を受けて、「国家試験問題に対する対応能力」を身につけたためだ。
- ★ さらに、【介護参考書を日本語教育の教材として位置づけた】ので、「専門知識を日本語教育の中で習得すること」ができた。そのことが、合格率の高さの裏づけとなった。

1、<なぜ、【到達度試験参加者】の合格率が高いのか？>

1、【なぜ、国家試験問題を正確に読解できたのか。】

- 日本語学習は、基礎⇒生活⇒職域言語教育の順番で「3年間計画」で体系的に学習し、【日本語の規則性と用法・運用】を理解できる力を養ったためだ。（表1参照）
- その結果、平易な日本語文から難解な文までを読解できる力が養われて、国家試験問題の意味を正確に理解できる言語能力を育てたためだ。
読解力が身についたために、問題文の「文意・文脈に対する理解力」が養われ、選択文から正しい文を「正確に選択できる力」が発揮できた結果、合格に結びついたのだ。

2、【なぜ、学習意欲が継続できたのか。】

- 表1に表わしているように【易しいものから難しいものへ】の通り、外国語を習得する場合には極力、「易しくて身近なものを正確に表現する能力」がない限り、学習意欲は途中でなえてしまうのは、当然のことだ。
- このことを前提に、【到達度試験参加者】には、「言語段階別学習計画」を設定して、定期的な言語能力の成長を客観視させる方法、【到達度試験】を行った。
【到達度試験】の結果が、各段階の言語能力を明確に示すために、国家試験までの継続意欲を養い、「学習目的の国家試験合格」までの行程が、着実に進められたからだ。

3、【なぜ、勤務時間中の学習が少なく、合格できたのか。】

- 【到達度試験参加者】は、勤務時間中の学習時間を一週間に一日間で、一日3時間の学習を基本とし、自学を中心にした。しかし一般では、週の半分以上を学習時間として、ポテンシア・自称日本語教師を中心に学習させている施設が多数ある。
- その実態をみると、学習時間だけを大量に保障して、非専門的な教育をしているために、受験者は精神的に日本語に対し、或いは、専門語彙・知識の暗記の学習に対し、嫌悪感が生じ、学習意欲を喪失する傾向が濃厚にある。（表2参照）
- 【到達度試験参加者】は、勤務時間内の「学習時間」を少なくし、介護業務を職員と多く行うことで、「日本の介護方法のあり方」が体得できた。その中で、日本語だけで業務を考える訓練ができ、【自学能力】が養われたのだ。
- その結果、国家試験問題に対する対応力も、業務を通じて得られ、同時に、専門語彙の意味が日本人と同じになり、その結果が、国家試験合格に結びつく大きな要因となったのだ。

表1、【言語能力段階】

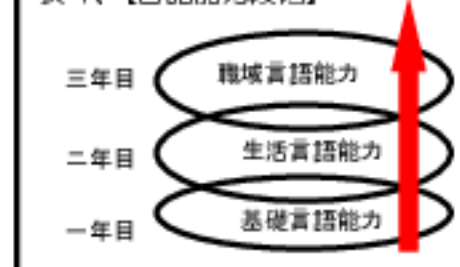


表2、【してはいけない 五原則】

① 勤務時間内の長時間学習

理由：受験者は母国では看護知識を持つ者で、来日後は勤務時間中、ほとんど業務をせず、学習だけに費やす状態は普通だ。この状態を嫌がるのは「職域に誇りがあるために」当然だ。この状態に矛盾を感じて、精神的に苦悩状態となり、学習意欲をなくす原因となっている。

② 暗記させる学習方法

理由：理解を伴わない暗記力を基にした学習方法は、1日当たりの持続時間は、「1時間以内」と脳科学的に証明されている。それに反して、1日3時間以上の暗記学習は、既に人間の能力の限界を超えており、言語の運用・応用力を養えない方法で、無意味だ。

③ 英語を使った学習法

理由：受験者は、母国で高等教育を受け、ある程度の英語力はあるが、その能力は必ずしも完全とは言えない。しかも、日本人の不十分な英語力で対訳すれば、「概念のすり合わせと一致」ができるのは、限られた範囲内で、不十分な学習となる。さらに、日本語力には、構文能力がないので、実務的ではない。

④ 隔離した学習法

理由：「試験対策」と称して、長時間別室に隔離し、日本語や受験対策の勉強をさせている施設が大半だ。しかし、受験者の意識は、「学ぶべき知識の習得」に専念できない。その根拠は、不十分な日本語力であり、さらに、「日本語の聴解方法」も知らないからだ。

⑤ 業務に責任を持たせない指導

理由：受験者が「専門知識を持っている者」ということを、受け入れ担当者は、ほとんど認識していない状態がある。その最大の要因は「日本語能力がないために、専門知識もない」と錯覚していることが理由の一つだ。よって、受験者が理解できる範囲内で、責任を持たせた業務をさせなければ、「誇りを傷つけ」、学習意欲と労働意欲が損なわれる。

Ⅱ、<なぜ、【到達試験参加者】は即戦力に成り得るのか？>

合格率 3 年連続 80%以上

1、【構文力が養われるため！！】

- 構文力を高めるためには、「二つの要素」が絶対に不可欠だ。一つ目は、【日本語文の構造に対する理解】が必要で、日本語の特徴である「助詞の意義理解」が知識として身につけていなければ、文書を書くことができない。
理由は、外国人にとって母語には助詞が多くないため、その使い分けと、運用を理解することが困難なのだ。
- 二つ目は、【物事に対する創造性（類推力）】が、構文力に不可欠だ。そのためには、【類推力】を養い、試験問題の「文意と文脈」を理解できる能力を養うことが、合格のために絶対必要だ。

- 【到達試験】は、全て記述式であるために、各レベルの試験問題の解答を、全て「日本語文で正しく書くこと」を要求している。
その過程の中で、正しく「助詞の意義理解」ができる能力が養われるために、日本語文の【読解力と構文力】が身につくこととなる。
- その結果、受験者の「言語能力の弱点」を見出せるため、それを強化する指導を行うことができる。教育成果として、合格した後に実務で必要とする「記録取りや報告書作成」が、できる能力があるために、即戦力と成り得るのだ。業務をさせるためには、構文力が絶対不可欠だ。

2、【学習と業務が一体化して、学習意欲の継続ができるため！！】

- 【到達試験参加者】には、学習時間を一週間の勤務時間、3 時間だけを使って学習させたことが、重要な点だ。その理由は、一週間で勤務時間 40 時間のうち、3 時間だけを学習時間に充てることで、日本語に対する理解を集中させることができるためだ。同時に、37 時間は業務で専門知識を体得でき、また、「介護参考書を日本語教材として使用」したので、学習意欲を増幅させたのだ。

- 学習時間量が少ない理由は、入職初年度では、施設の仕事のやり方や職員としての守るべき就業規則などを、業務の中で体得させることを目的としているためだ。
その結果、受験者には「職員の一員としての自覚」が生まれて、国家試験対策の学習にも、意欲的に取り組む考えを、芽生えさせたのだ。

3、【母国の介護知識を活かした学習をするため！！】

- 受験者は既に、母国では看護師並びに、専門学校卒者として尊敬する必要がある。但し、日本では法律上、無資格者として扱われる。このことを受験者に明確に意思伝達し、認識させ、職務を割り当てることが重要だ。
- また、業務ができる範囲は表 3 の通り、受験者の母国と日本の業務の中で、「共通している業務」がある。既に、受験者が母国で行ってきた「共通している業務」に対しては、一定の期間をみて責任を与えることが、国家試験合格に向けての学習意欲の向上に重要な要素だ。

表 3、【介護士業務の比較】



- ※ 1 から 3 に述べた通り、受験者には勤務時間中に特別待遇（長時間の学習時間設定）を与えることなく、施設勤務者としての「立場を明確に自覚」させ、業務を重視した学習を行わせることが大切だ。
- ※ 業務を通じて、「専門語彙・専門知識や日本の介護事情など」を体得でき、国家試験に対応できる能力が養える。
その結果、合格後、言語能力と記述能力が備わり、即戦力として、今まで得た知識を活用できる介護士を誕生させることができる。
- ※ この最終目的「即戦力となる介護士養成」を果たせない限り、国家試験合格後、再度、【言語能力向上教育】が必要となる。さらに、一年間、施設の持ち出し資金で、日本語教育の再教育を行わなければならない状態になってしまう。

表 4、【受験者言語能力の 6 項目チェック】

貴施設の受験者は、どのくらい当てはまりますか？

1. 学習意欲が継続しており、意欲が高まっていますか？
2. 職員の手間がかからずに、自学できていますか？
3. 日本語に対する関心度が高まり、職員に質問することが多くなっていますか？
4. 指示に対して、全て正確に業務ができていますか？
5. 入職して 1 年目で決まった業務ができていますか？
6. 2 年目から夜勤を任せられますか？

※ 全項目できていたら、言語能力が十分に有り、

1 回で合格の可能性有り

※ 上位 3 項目 (1.2.3) ができて、(4, 5) ができていれば、

延長で合格の可能性有り

※ 上位 3 項目と (6) ができていれば、合格の可能性 60%

※ 上位 3 項目と (5) ができていれば、合格の可能性 40%

※ 上位 3 項目と (4) ができていれば、合格の可能性 30%

※ 上位 3 項目しかできていなければ、合格の可能性 30%以下

※ 上位 3 項目ができていなければ、不合格

(前号関連記事)【日本語教育の専門家の基準】

1. 日本語の【規則性・用法・運用】についての理解がある。
2. 受験者の日本語力を、客観的に数値化できる。
3. 日本語技能【瞬時反応・読解・構文力】などを養える。
4. 教育成果を第三者に客観的にみせることができる。

覚えるのではなく、理解させる A コース

◎ 到達度試験Aコース(独立型)

<自学能力養成型コース>

【一年目 到達度試験 初回レベル～Dレベル】

※ 【自学能力】を養うことを目的としたコースです。
言語能力は、日本人の中学2年生までの能力に達するようにプログラムされています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かきど (瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と (構文力育成用)

・カタカナノート (説明文・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1 (基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2 (熟語漢字習得育成用)

・手渡し教材随時

【二年目 到達度試験 Eレベル～国試2レベル】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。そのため、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文書で解答できる能力が育成できます。

※ 主教材 ・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【三年目 スカイク授業 5回(1回2時間)】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

- 【指導内容】
- ① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導
 - ② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導
 - ③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイク授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ②1,755語の基本漢字が習得できて、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ③会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで、できるようになる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できるようになる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができるようになる。 ④簡単な業務日誌が書けるようになる。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本語力を高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えられるようになる。 ②専門用語の漢字を「類推して読解」できるようになる。 ③自学で「過去問」ができるようになる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①日本語を使った「業務実践力」を行える能力を養う。 ②会議等で意見を発言し、内容把握ができる能力を養う。 ③要約力を養い、会議等で的確なメモをとれる能力を養う。 ④日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できるようになる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して読み理解できるようになる。 ③マークシートの解答ではなく文書による解答ができるようになる。

【四つの言語技能(聞く・話す・読む・書く)が、同時に高まるBコース】

◎ 到達度試験Bコース(併用型)

< おまかせコース >

【一年目 到達度試験(初回~Dレベル)+スカイプ】

※【自学能力】を養える【到達度試験】と対面教育ができる「スカイプ授業」を併用しています。

日本人の中学2年生までの能力に達するプログラムで、特に、正しい会話力が身につけられるコースです。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材・ひらがな絵カード(瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と(構文力育成用)

・カタカナノート(説明・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)

【二年目 到達度試験(E~国試1レベル)+スカイプ】

※日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。

スカイプ授業併用型なので、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文章で解答できるようにプログラムしています。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【三年目 到達度試験(国試2レベル)+スカイプ】

※日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

日本人の職員と同等に業務ができるまでの能力に達するように、プログラムしています。

また、国家試験合格後でも、同じ職場で働く意欲を養うことも目的としています。

※主教材・専門参考書

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

- 【指導内容】
- ① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導
 - ② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導
 - ③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書を提出し、現場の指導に役立てます。】

※【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①スカイプ授業を併用するために、対面学習で、適切なプロの指導が受けられる。そのために、確実な日本語力が養える。 ②日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ③1,755語の基本漢字を習得でき、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ④会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで到達できる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができる。 ④簡単な業務日誌が書ける。 ⑤スカイプ授業は、受験者の表情を教師が読み取れるので、「本当に理解しているか、どうか」が判断でき、確実な言語能力がつく。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的にやり、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本人の高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。 ④日常会話力が支障なく使える能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えることができる。 ②専門用語の漢字を「類推して読み、意味理解」できる。 ③自学で「過去問」を解ける。 ④スカイプ授業併用型なので、問題・疑問が、その場で解決できる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①業務の実践力を養う。 ②会議で意見を発言して内容把握でき、メモをとる能力を養う。 ③話の内容を的確に、まとめる能力を養う。 ④日本人社会人と同等レベルの言語能力を養う。 ⑤スカイプ授業なので日本人感覚の「語感・語調」を、正しくプロの教師が養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して、読み理解できる。 ③マークシートの解答ではなく、文章による解答ができる。 ④専門語彙と専門知識を自学できる。

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い諸技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は、平成 24 年度国家試験で受験者数 95 名中 36 名が合格し、その 36 名中 19 名 (52.7%) がこの【到達度試験】を受けた受験者でした。 25 年度では、128 名の国家試験合格者のうち、【到達度試験】参加者は 76 名で、合格者は 68 名 (89.4%) でした。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で働く人間として必要な言語能力を養うことを重要視した学習方法です。 さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、病院や介護施設などで実践力のある要員として育成することを目的としています。 定期的試験結果を数値化し、職員に指導の仕方を考察票でお送りしておりますので、安心してご指導頂けます。 是非、ご参加下さい。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職域言語能力を養う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」(漢字 熟語)と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 (語彙力・文意力)に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	生活言語能力を養う
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	基礎言語能力を養う
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字(ひらがな・カタカナ・ 漢字)・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		

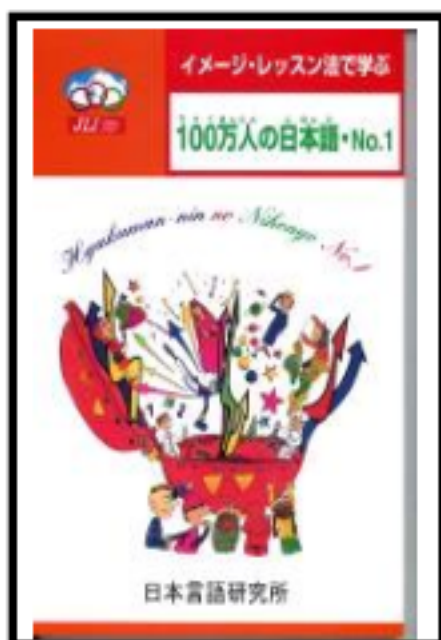
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

スカイプ・教材の問い合わせ先
ことばの研究社
電話：086-431-3481
FAX：086-431-3482
岡山県倉敷市庄新町 9-4-12

主教材

基礎言語能力レベル

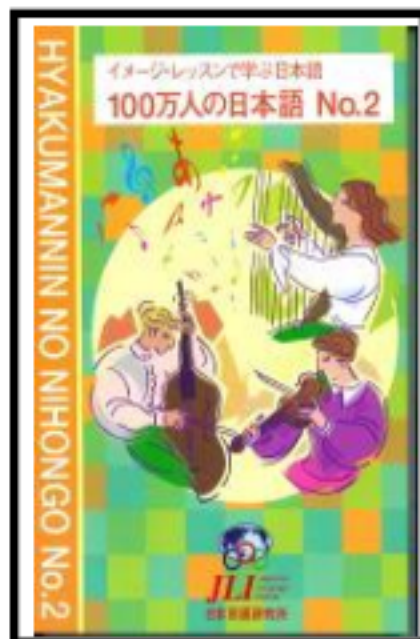


【テキスト「100万人の日本語 No.1」】

ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2,805 円)

※ 習得漢字数 310 字～620 字

※ 習得語彙数 520 語～1560 語



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】

会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話文を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2,805 円)

※ 習得漢字数 420 字～840 字

※ 習得語彙数 570 語～1,710 語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】

日本社会に適應できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。

論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。

仕事に関連する語彙を自分で辞書を引いて調べることができます。(3,300 円)

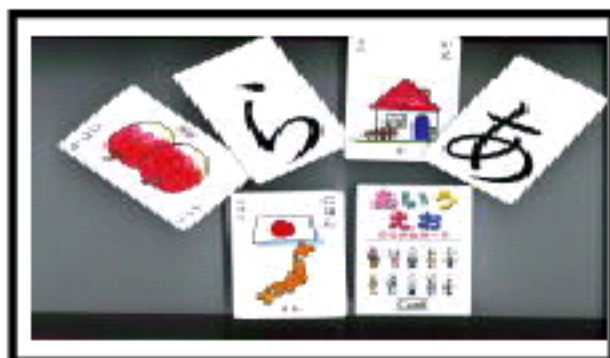
※ 習得漢字数 850 字～1,700 字

※ 習得語彙数 1,110 語～3,330 語

使ってみてビックリ！
教育効果の高さ
副教材

基礎言語能力レベル

手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。

イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。

(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。

(1,980 円)



『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。

非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。

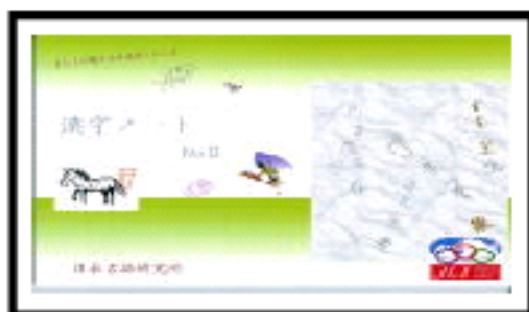
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその言出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。

漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。

非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)